



我々は薬学においてシミュレータ付録でフィジカルアセスメントを普及させた元祖

ADME（A:吸収、D:分布、M:代謝、E:排泄）人形普及のためのストレート戦略（患者の幸せと世界平和を願う）

【研究代表者・高村徳人(タカムラトク)インタビュー】
「ADMEアセスメントの重要性と薬剤師の使命感」を段階的に語っていきます。さらに、著書や論文も、右のQRコードよりアクセスしてご視聴・検索ください。

【ADME人形について】
本人形の簡単な解説および購入方法に関しては、右のQRコードよりアクセスしてください。

人生常時と腎臓病時における腎臓と血中濃度の比較(縦向き)
高村徳人 著：一目で伝わるADME図鑑、南山堂、2020、p17

ADME アドメ人形を用いた薬剤師の服薬指導は、患者に早く良くなって幸せになって欲しいと願うものである。それは患者の心の平和につながるものである。ADME人形による服薬指導が世界の薬剤師に伝播すれば、世界平和 (PEACE) の大きな推進力になる。

薬学版のピクトグラム人形としての普及戦略

1964年東京オリンピックで日本人デザイナーによる言葉の壁を乗り越えるピクトグラムが考案され、世界中に広がりレガシーとなった。この人形は薬学版のピクトグラム人形なのである。必ず、世界中に普及する。写真はドーピング防止モードの人形である。

ピクトグラム

ADME聴診器（=薬剤師のシンボルなる道具）開発のための戦略（ADMEを見極めた上での感動の服薬指導で普及）

アドメ人形でお薬の説明をしますね

頸動(静)脈、橈骨動脈、手足の甲・指先及び目等に当てて・かざす

やったADME聴診器の完成だーがんばろう薬剤師！

ADME聴診器により、薬剤師の医療レベルは飛躍的に押し上げられる。

ADME聴診器(薬剤師のシンボルなる道具)とは非侵襲的かつ簡便に以下のいずれかの項目が測定できる携帯用道具(測定部位は手の指や腕が良い)で、それらが分かれば総薬物血中濃度(遊離型薬物濃度)のおおよその経時的な変化を患者の目の前で推測できる可能性が高い(薬剤師医療では最重要)

- ①門脈血流量や肝血流量などの変化が分かる(吸収変化)
- ②胃腸(特に腸)のPH変化が分かる(吸収変化)
- ③総タンパク、アルブミン及び遊離脂肪酸の変化が分かる(遊離型薬物濃度の変化)(分布変化)
- ④アルブミン/グロブリン(A/G)の変化がわかる(肝障害の重症度が分かる)(代謝能変化)
- ⑤血清クレアチニンの変化がわかる(排泄能の変化)
- ⑥腎血流量の変化が分かる(排泄能の変化)
- ⑦尿中PHの変化が分かる(再吸収能の変化)

ADME聴診器が開発されれば、ADME人形で患者に投与された薬のおおよそではあるが真のADMEを患者に分かり易く説明できる。

- 薬剤師は人形や図鑑を用いて薬のADMEを踏まえた服薬指導を行う。この患者さん薬の効果がでない。何故？どうにかしてADMEを見極めたい。
- 薬剤師は薬のADMEを非侵襲的に見抜く道具の必要性に気づく(フィジカルアセスメントが必要だと気づいたときの様に)
- ついに、多くの企業を巻き込んでADME聴診器の開発がスタート！

がんばろう薬剤師
-医療貢献のための道を語る-
高村徳人 著

ADME聴診器